

# 事業報告書

2019年度

社会福祉法人 慈協会

特別養護老人ホームサニーヒル  
特別養護老人ホームサニーヒル ユニット  
デイサービスセンターサニーヒル  
ショートステイサービスサニーヒル  
サニーヒル居宅介護支援センター  
地域包括支援センターブランチサニーヒル

## 2019(令和1)年度事業報告

理事長 遠山 洋一

施設長 岡寄 圭次郎

2019(令和1)年度の各事業部門の稼働状況につきましては、従来型特養は延べ利用人数 18,995 名(前年 18,905 名)で 90 名の増加、ユニット型特養は延べ利用者人数 14,468 名(前年 14,431 名)で 37 名の増加となりました。ショートステイサービスは延べ利用人数 14,923 名(前年 14,652 名)で 271 名の増加、デイサービスについては延べ利用人数 2,863 名(前年 2,570 名)で 293 名の増加となりました。また居宅介護支援事業所の件数 1,604 件(前年 1,506 件) 98 件の増加となりました。以上纏めますと、全事業所である従来型特養・ユニット型特養・ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援事業所で昨年度より増加となりました。今後も入院で空床となったベッドの空床利用の徹底化を更なる稼働率の向上に努めて参ります。ただ現在利用率が平均 40%台に低下し、ここ 5 年間で経常増減差額が合計▲22,389,653 円、年平均▲4,477,931 円となっており、デイサービスの運営改革が逼迫した改善すべき問題であります。現行のリハビリ体操・カラオケ・陶芸・書道・生け花に加えて、新たに Body exercise machines を 5 台購入計 6 台と、サルコペニア(Sarcopenia)、フレイル(Frail)からのロコモティブシンドローム(Locomotive syndrome)の予防的筋力維持だけではなく、Anti-aging としての、筋力アップを目指す新たな利用者の獲得を目指すと共に、新しいスタッフも入れ、定期的な居宅介護支援事業所の訪問も重ね、利用率の向上を目指します。

例年、月に 1 回開催している運営委員会・経営会議で、理事長、施設長、幹部職員を始め、主要職員が定期的に話し合うことで、現行に見合った問題点・改善点を洗い出し、常に時代に則した意識改革を図ると共に、サービスの更なる向上や稼働率の増加やコスト削減といった運営改善を行った結果、今年度もお陰様で黒字決算とすることができました。

施設整備面では、赤い羽根共同助成金にて B 棟の特殊浴槽の新規交換と、介護ロボット助成金ご利用者の超低床ベッドを 12 台の交換を行う事ができました。その他には、車椅子対応送迎車両 1 台を購入入れ換え、また自動車対応車椅子の導入、各部署の固定電話の新規交換や、新規ボイラー設置によるボイラーの 2 台化対応、そして念願であった太陽光発電システムの導入を行いました。

経営課題の一つとしての、慢性的な人員不足に対しては、人手が足りない時は、事務職員の介護業務へ応援など、工夫し対応しております。また引き続きの求人活動は基より、毎年 5~6 人の新卒職員の採用を目指して、関連の高校・専門学校の定期的な訪問を予定しています。更に近隣地区ではトップの職員待遇を目指して、離職率を低下するなど、ありとあらゆる手段を尽して今後も有能な人材確保に努めて参ります。今年度の 3 月より、特別報奨金を設け、6 月と 12 月、そして 3 月の、年 3 回のボーナスと致しました。

最後に、当施設に於いても、2019 度は台風 15 号(房総台風)等による災害が発生しましたが、辛うじて利用者・スタッフへの被害は無く、無事に修繕も終え、今年度の事業が滞り無く遂行することができましたのも、理事及び評議員各位の経営に対するご意見やご協力、また行政関係各位のご指導、更には地域の皆様方のご理解の賜物であり、心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

## I. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル）

令和元年度の入所者は10名（平成30年度13名）、退所者は10名（平成30年度13名）となっている。入所者の平均要介護度は4.2と年々介護度が高くなっている。要因として、ここ数年介護認定を受けている利用者が増え、更には重度化してきている傾向にあると思われる。利用者の入所経緯としては、在宅からが9名（うちサニーヒルショートステイ利用者6名、他施設ショートステイ2名、自宅1名）、病院からが1名と、昨年度と同様在宅からの入所が比較的多かった。令和元年度では、ロングショート利用中の方で長期入所待機者が多かった為、ロングショートから長期入所への切り替えを積極的に行った。

要介護度別の状況

令和2年3月31日

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	0	4	3	2	9
女（人）	1	0	5	18	19	43
実数（人）	1	0	9	21	21	52
割合（％）	1%	0%	17%	40%	40%	100%

### 平成30年度及び令和元年利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度（人）	54	53	52	52	53	53	52	53	53	54	53	52	634
令和元年度（人）	54	52	53	53	52	52	53	53	53	55	52	52	634

### 平成30年度及び令和元年度利用日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度（日）	1,544	1,601	1,550	1,611	1,607	1,560	1,612	1,553	1,606	1,590	1,448	1,607	18,889
令和元年度（日）	1,556	1,612	1,554	1,605	1,612	1,560	1,603	1,554	1,611	1,608	1,508	1,612	18,995

### 認知症高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅠの判断基準は、何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している状態。ランクⅡは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態。ランクⅢは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態。ランクⅣは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態。ランクⅤは著しい精神症状や問題行動が見られ、専門医療を必要とする状態が判定基準である。提供されるサービスの例としてはランクⅢより短期入所生活介護・通所介護の必要性があり、ランクⅣにおいては、介護保険施設の利用が適当と判断される。なお、ランクⅤの段階では専門医療機関(精神科)の受診が必要となる。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅠに属する利用者は0名で、ランクⅡに属する利用者は、4名、ランクⅢは18名、ランクⅣは23名、ランクⅤの自立度に位置する利用者が7名(3月31日現在)となっている。

区分	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	0	2	1	4	1	8
女(人)	0	0	4	9	6	19	6	44
実数(人)	0	0	4	11	7	23	7	52
割合(%)	0%	0%	7%	21%	13%	44%	13%	100%

### 障害高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅥは何らかの身体障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者が該当。ランクⅦは「寝たきり」に分類され、「寝たきり予備軍」ともいうべきグループであり、いわゆるhouse-boundに相当する。ランクⅧは「寝たきり」に分類されるグループであり、いわゆるchair-boundに相当する。ランクⅨはランクⅧ同様「寝たきり」に分類されるが、ランクⅧより障害の程度が重い者のグループであり、bed-boundに相当する。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅥに属する利用者が0名、Ⅶが8名、Ⅷが5名、ランクⅨが最も多く39名(3月31日現在)となっている。

令和2年3月31日現在

区分	Ⅵ 1	Ⅵ 2	Ⅶ 1	Ⅶ 2	Ⅷ 1	Ⅷ 2	Ⅸ 1	Ⅸ 2	合計
男(人)	0	0	0	1	1	0	4	3	9
女(人)	0	0	2	5	0	4	18	14	43
実数(人)	0	0	2	6	1	4	22	17	52
割合(%)	0%	0%	3%	11%	1%	7%	42%	32%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

令和2年3月31日現在

区 分		入所者数	入 所 期 間				
			～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	2	1	0	0	0	1
	計	2	1	0	0	0	1
65～ 69歳	男	1	1	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	0	0	0	0
70～ 79歳	男	3	2	0	0	0	1
	女	7	1	1	2	2	1
	計	10	3	1	2	2	2
80～ 89歳	男	5	1	1	1	0	2
	女	17	3	3	2	3	6
	計	22	4	4	3	3	8
90歳～	男	0	0	0	0	0	0
	女	17	2	6	2	2	5
	計	17	2	6	2	2	5
合 計	男	9	4	1	1	0	3
	女	43	7	10	6	7	13
	計	52	11	11	7	7	16
平均年齢 男性79.2歳 女性85.76歳 総数84.63歳							
平均入所期間 男性2年1ヶ月 女性3年 総数2年8ヶ月							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	32
木更津市	介護保険利用者	7
市原市	介護保険利用者	8
君津市	介護保険利用者	3
千葉市	介護保険利用者	1
船橋市	介護保険利用者	1

## I. ユニット型介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル ユニット）

ユニット特養は平成25年5月にオープンし、2019年度内に入所された方は11名、退所者は11名であり、入所経緯は、介護老人福祉施設からが7名、病院からが3名、障害者福祉施設からが1名、在宅からが0名、であった。

今年度は介護老人福祉施設から入所されるケースが圧倒的に多くなっている。

待機者については在宅からよりも退院後の受入れ希望や、ショートステイ等利用から、入所への希望が圧倒的に多くなっている。

### 要介護度別の状況

2020年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	1	1	6	5	2	15
女（人）	1	3	8	5	8	25
実数（人）	2	4	14	10	10	40
割合（％）	5.0%	10.0%	35.0%	25.0%	25.0%	100%

### 2018年度及び2019年度年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018年度	1,199	1,228	1,189	1,240	1,206	1,182	1,230	1,185	1,223	1,211	1,104	1,234	14,431
2019年度	1,182	1,217	1,195	1,229	1,227	1,200	1,228	1,179	1,221	1,228	1,148	1,215	14,469

### 2018年度及び2019年度月別稼働率比較

2018年度	99.9%	99.0%	99.1%	100.0%	97.3%	98.5%	99.1%	98.9%	98.6%	97.7%	98.6%	99.5%	98.9%
2019年度	98.5%	98.1%	99.6%	99.1%	99.0%	100.0%	99.0%	98.3%	98.5%	99.0%	99.0%	98.0%	98.8%

## 認知症高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の認知症高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅠが0名・ランクⅡaが2名、ランクⅡbは10名、ランクⅢaが9名、ランクⅢbが3名、ランクⅣが10名、ランクMが6名(2020年3月31日現在)となっている。

前年度と比較するとランクⅢaが少なくなりⅡbやⅢbに移行している。認知症の程度は若干軽くなったようだが、その分歩行が可能な動きが多い利用者が増えたため見守りの必要性があり、ベッドでの動きなどにも注意が必要となるため、転倒・転落のリスクが高くなっているので注意深く見守りしていかなければならない。

2020年3月31日現在

区分	正常	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男(人)	0	0	0	1	5	0	2	3	11
女(人)	0	0	2	9	4	3	8	3	29
実数(人)	0	0	2	10	9	3	10	6	40
割合(%)	0.0%	0.0%	5.0%	25.0%	22.5%	7.5%	25.0%	15.0%	100%

## 障害高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の障害高齢者の日常生活自立度状況は、ランクJに属する利用者は0名、Aが12名、Bが19名、ランクCが9名(2020年3月31日現在)となっている。

特徴としては、ランクBの利用者が47.5%と多く、「寝たきり」から「準寝たきり」のランクへと移行している。歩行が不安定にもかかわらず、歩き出そうとしたりするため、こまめな見守り、所在確認が必要となる。また、歩行が可能で徘徊する利用者が増えているので、他利用者とのトラブルや徘徊、離脱などにも細心の注意が必要となっている。

区分	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男(人)	0	0	1	3	6	0	0	1	11
女(人)	0	0	2	6	10	3	2	6	29
実数(人)	0	0	3	9	16	3	2	7	40
割合(%)	0.0%	0.0%	7.5%	22.5%	40.0%	7.5%	5.0%	17.5%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

2020年3月31日現在

区 分	入所者数	入 所 期 間					
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～	
～64歳	男	1	1	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	0	0	0
65～ 69歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
70～ 79歳	男	1	0	1	0	0	0
	女	5	2	1	0	0	2
	計	6	0	0	0	0	0
80～ 89歳	男	9	3	2	0	1	3
	女	15	5	2	3	0	5
	計	24	0	0	0	0	0
90歳～	男	2	0	1	0	0	1
	女	7	0	1	1	2	3
	計	9	0	0	0	0	0
合 計	男	13	4	4	0	1	4
	女	27	7	4	4	2	10
	計	40	11	8	4	3	14
平均年齢 男性83.73歳 女性85.26歳 総数84.77歳							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	15
木更津市	介護保険利用者	6
市原市	介護保険利用者	8
君津市	介護保険利用者	3
栃木県佐野市	介護保険利用者	1
千葉市	介護保険利用者	2
中央区	介護保険利用者	1
横浜市	介護保険利用者	1
板橋区	介護保険利用者	2
八千代市	介護保険利用者	1



## II. 短期入所事業（ショートステイ）

### 総括

2019年度の稼働率は101.9%（前年比1.8ポイント増）、利用延べ人数で14,923人（前年比498人増）であり、今年度も前年度を上回る事ができ、稼働率も100%台を継続する事ができた。要因としては、協力病院を始め、居宅支援事業所から継続的に利用者の紹介を頂けたため、昨年度より上回ったと考えられる。また、利用されている方が入院された際の空きベットを他の方に利用して頂いた事も稼働率が上がったの要因として考えられる。更には、要介護認定を受ける高齢者も年々増加傾向にあり、それと共に要介護度も高くなり重度化してきている為、ショートステイ利用の需要も多くなってきている。

今後も、各居宅支援事業所のケアマネジャー宛に定期的な空き状況のお知らせをすることはもとより、入院等で予期せず空きベッドが生じた場合は、その都度電話、メール、FAXを駆使し、こまめに外部のケアマネジャーに通知していき、空きベッドを有効に活用し稼働率の落ち込みを防ぎ、安定した稼働の確保に努めていく。

### <年間利用状況集計>

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

利用人数	571人
利用延人数	14,923人（1日平均39.5人）
稼働床数	14,640床（1日40床×366日）
稼働率	101.9%
一人あたりの月間利用日数	27.8日

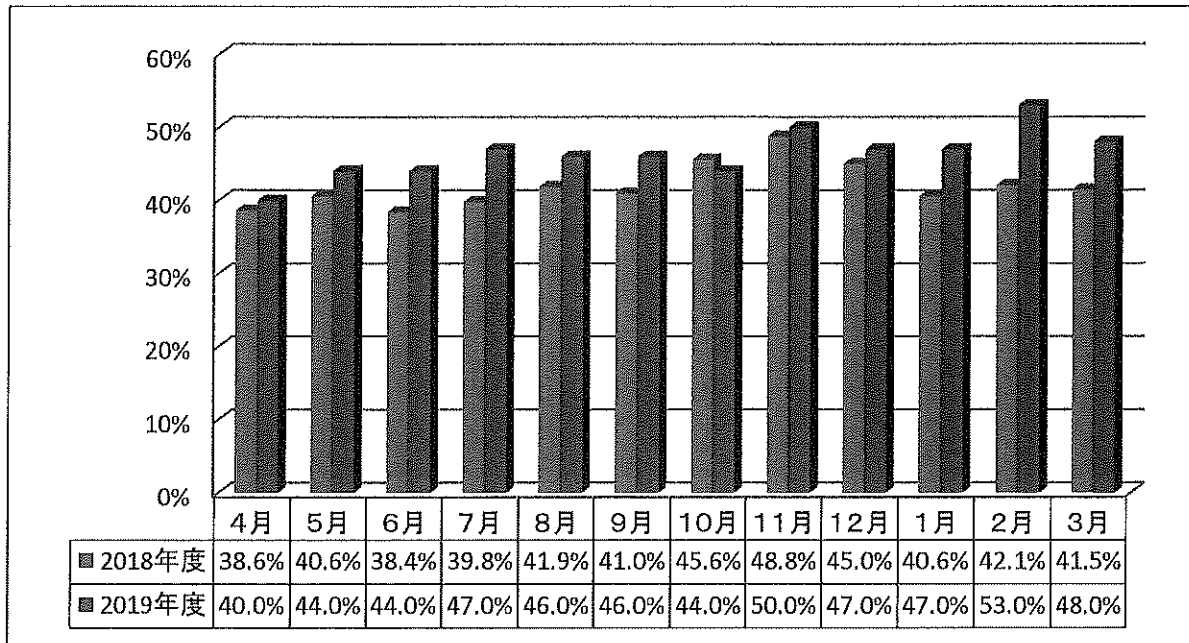
### <月別利用状況>

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数（人）	47	46	43	46	44	44	45	45	45	43	46	42	536
利用日数（日）	1,194	1,240	1,226	1,253	1,260	1,251	1,282	1,221	1,280	1,281	1,160	1,275	14,923
稼働率（%）	100.0	100.0	102.0	101.0	102.0	104.0	103.0	102.0	103.0	103.0	100.0	103.0	101.9

※本頁中の人数及び利用者数は、予防給付・介護給付を合算したもの

③ <2018年度及び2019年度稼働率比較>



④ <2019年度要介護度状況>

介護度別利用状況

2018年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	46	65	112	94	34	36	14	401
割合(%)	11.5%	16.2%	27.9%	23.4%	8.5%	9.0%	3.5%	100%
2019年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	46	85	118	102	30	34	2	416
割合(%)	11.0%	20.4%	28.3%	24.5%	7.2%	7.9%	0.4%	100%
前年度比	100.0%	130.8%	153.4%	108.5%	81.1%	94.4%	14.2%	97.4%

介護度別利用状況の合計人数は利用者の数が昨年度よりも15人多く、稼働率も微増しており、利用者の利用回数が1日増えたことや新規利用者の獲得したことが挙げられる。前年比で97.4%となり、利用率は増加している。

稼働率は、昨年度と比較すると10月以外は増加しており通年でも5%と微増した。

介護度別に見ると、要介護度5の利用者が2名と昨年度より激減したが、その他に関しては昨年度とそれ程、大きな変化は見られない。

## IV. 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）

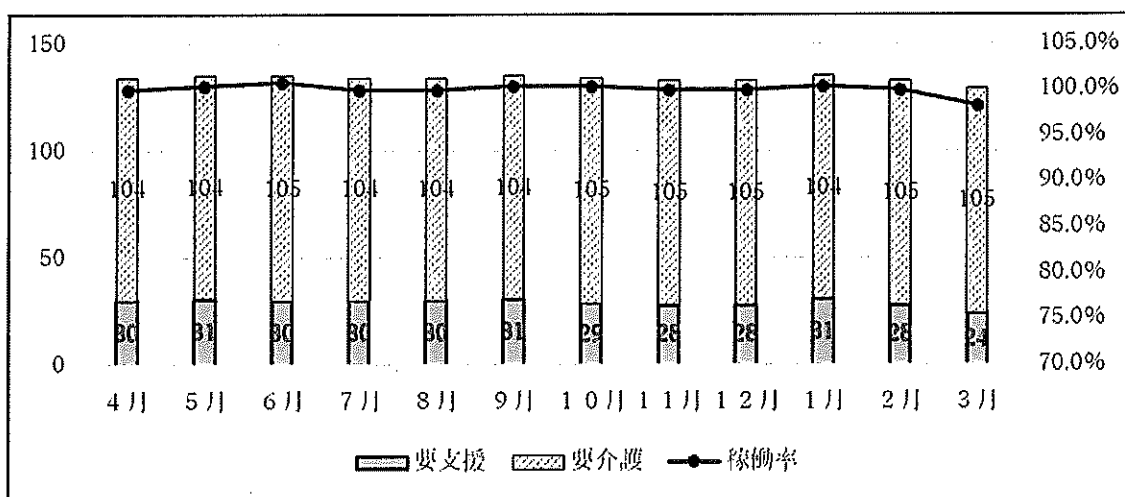
### 1. 利用実績

（平成31年4月～令和2年3月の給付管理実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	104	104	105	104	104	104	105	105	105	104	105	105	1254
要支援	30	31	30	30	30	31	29	28	28	31	28	24	350

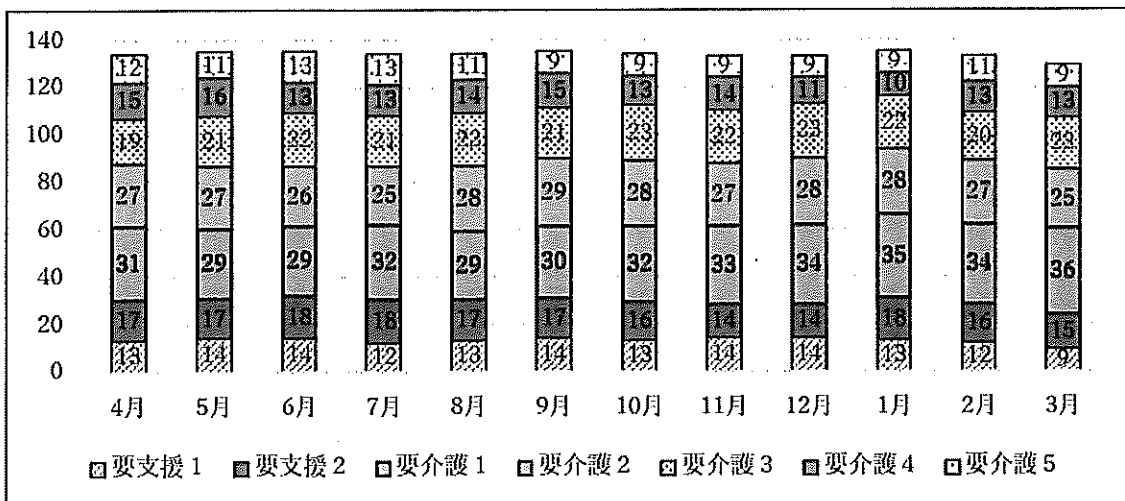
平成31年度の給付管理実績は要介護1254件、要支援350件、計1604件であった。総計画作成件数は、1429件（※要支援は0.5件で計上）で、前年度実績より98件増加。月平均も119.1件で、前年度と比べ8.2件増加している。年度平均稼働率は100.1%で前年度実績を6.9%ほど上回っている。

ケアマネ各自が研修に積極的に参加し新たな知識の習得、自己の研鑽に努めた。また、法令を遵守し、より質の高いケアマネジメントを実践することができた。



### 2. 介護度別利用者数

年度末時点で要支援者の割合が19%、要介護1～2の割合が47%、要介護3～5の割合が34%となっている。

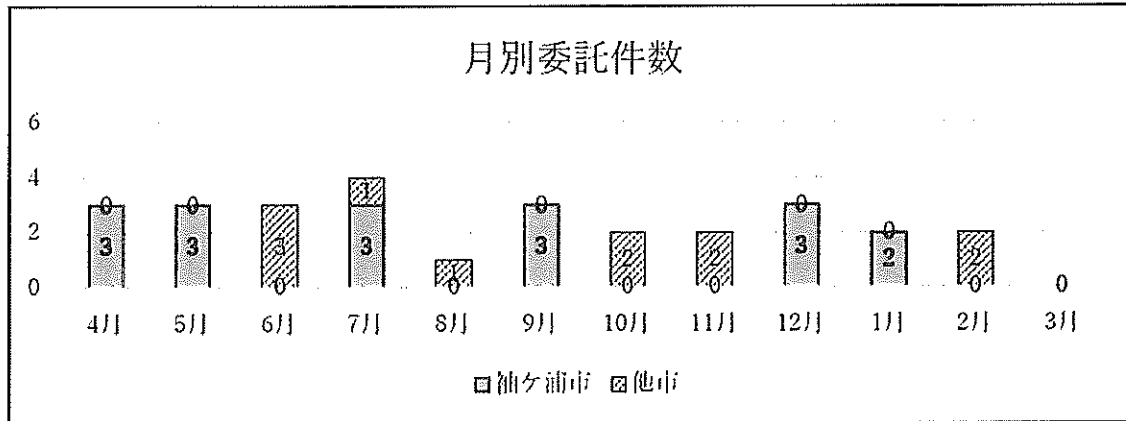


### 3. 要介護認定訪問調査委託事業（委託業務）

今年度の委託件数は28件であった。今後も袖ヶ浦市、他市区町村との連携の下、積極的に訪問調査を行っていきたい。

袖ヶ浦市委託件数 17件

袖ヶ浦市以外 11件



## V. 地域包括支援センターのブランチ事業

2019年度の実態把握件数は前年比12%減の216件であった。

減少した要因として、9月に台風による災害と停電があり、訪問することができなかった事、また、訪問しても留守宅が多く、時間を費やしてしまったことが挙げられる。

今後は在宅しているであろう時間帯を読み訪問し、留守宅のロスを無くすことはもちろんのこと、なるべく月の序盤から訪問できるよう業務の見直しもしていき、訪問件数を増やしながらか高齢世帯の実態把握訪問を行い、援護高齢者の発見や包括支援センターの窓口機関として業務に努めたい。

### tre 1. 相談対応実績

	実態把握訪問時	その他	計
相談対応件数 (対象高齢者数)	216	0	216

(件)

### 2. 相談対応実績(対応延回数)

	計	対応内容別内訳		
		電話	来所	訪問
相談対応回数(延)	216	0	0	216

(回)

※同一対象者に複数回対応した場合、それぞれを1回とカウントする。

### 3. 実態把握実績

	独居	高齢者複数	その他	計
新規	0	216	0	216
再訪問	0	0	0	0
計	0	216	0	※加算対象 216

(件)

※今年度に限らず過去に一度でも実態把握をしている場合は、再訪問とする。

# 給与栄養量

H31. 4. 1～R2. 3. 31

月	熱量 kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	ビタミン				食塩 g
					レチノールμg	B1 mg	B2 mg	C mg	
H31.4	1,465	66.4	33.5	718	776	1.22	1.3	113	8.6
R1.7	1,452	64.8	34	770	763	1.21	1.35	109	8.5
10	1,467	64.9	34.7	770	748	1.14	1.37	110	8.5
R2.1	1,481	65.8	34.1	695	798	1.15	1.29	112	8.5
月平均	1,466	65.5	34.1	738	771	1.18	1.33	111	8.5
摂取基準量	1,400	60	31～47	700	800	1.20	1.30	100	8

## 主食種類別状況

R2. 3. 31現在

区分	流動食 (濃厚)	ミキサー食	全粥	軟飯	ご飯	計
A・B棟	0	2	46	19	19	86
C棟	0	2	14	11	9	36

## 副食種類別状況

R2. 3. 31現在

区分	常食	一口大	きざみ	極きざみ	ミキサー	流動食 (濃厚)	計
A・B棟	15	14	13	41	3	0	86
C棟	7	5	9	13	2	0	36

# 入所者嗜好調査結果

令和2年3月31日

食品名	食べられない人	率(%)	代替食
牛乳	2名	2.3	コーヒー・紅茶・ジュース
納豆	21名	24.4	卵料理
パン	8名	9.3	ごはん、粥
麺類	13名	15.1	ごはん、粥
刺身	5名	5.8	甘塩鮭
鯖	3名	3.5	甘塩鮭、卵料理
肉類	0名	0	卵類、魚缶類
カレー	3名	3.5	肉じゃが
トマト	0名	0	じゃがいも、アスパラ等
グレープフルーツ	1名	1.1	果物缶
梅干し	6名	7.0	塩分制限の為なし

※ 入居者の平均年齢は男 82.5 歳、女 85.2 歳と共に 80 歳を超え、それに伴い副菜の形態も常食が 15 名（10 名）、一口大が 14 名（6 名）、きざみが 13 名（23 名）、極きざみが 41 名（34 名）、ミキサー食 3 名（12 名）と約 8 割の方達は料理の形態を崩した食事での対応となっている。カッコ内は平成 30 年度の実績報告時の人数になっている。

認知症の進行と平行し BMI18.5 以下の方が増加の一途をたどっている。高齢にともない認知症も進行しており、嗜好面意思表示の低下、味覚の鈍化も顕著になっている。反面、偏食が是正され栄養素バランスが向上している。しかし、咀嚼、嚥下低下のため摂取量の低下による必要エネルギー量の確保が困難である。一方で、少人数だが肥満傾向の体重増加の予防、機能低下を予防する為リハビリや体操なども積極的に取り組んだ。さらに誤嚥の為、主食の麺類等が摂取困難のため禁止食となるケースが増加傾向を示し食事メニューの選択幅が減少している。また医薬品の関係で一定の食材が禁止になる場合も多くなってきており納豆やグレープフルーツなどが禁止となる人数も増加傾向にある。

## 行事食の状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

行 事	月 日	献 立 内 容
花見	4月7日	お汁粉
創立記念日	5月12日	紅白饅頭 昼食：ご飯、すまし汁、お刺身、煮物、いちごムース
あやめ見物	6月上旬	袖ヶ浦公園にて：アイス
夏祭り	7月22日	A棟2階 わたあめ、かき氷、ソース煎餅、
	7月22日	A棟3階 わたあめ、かき氷、駄菓子
	7月11日	B棟 冷やしそば、かき氷、ジュース、駄菓子
	7月19日	C棟1階 焼きとうもろこし、かき氷
外食	7月2、5、16日	C棟2階 一幸へ外食
敬老会	9月22日	昼食：赤飯、天ぷら盛合せ、卵豆腐、ほうれん草のお浸し、お吸い物、芋ようかん A棟 寿おやき、果物とゼリー盛り合わせ、お煎餅、駄菓子、チョコレート、お茶
	9月21日	C棟1階
	9月19日	C棟2階 昼食：松花堂弁当、お吸い物、和菓子(芋羊羹)
	9月29日	B棟 フルーツ、和菓子、お煎餅、駄菓子、チョコレート、お茶
お彼岸	9月23日	おはぎ(代替食：お汁粉)
クリスマス忘年会	12月24日	A棟2階、 A棟3階、 B棟 C棟1階 昼食：オムライス・スープ・ブロッコリーサラダ・みかん おやつ： クリスマスケーキ
	12月20日	C棟2階 昼食：けんちんそば・山芋の短冊揚げ・茶碗蒸し・果物 おやつ： クリスマスケーキ



年越しそば	12月31日	昼食：年越しそば、肉団子、果物缶
お正月	1月1日	昼食：赤飯、清汁、おせち盛り合わせ、 根菜煮、果物缶 ※三箇日は各階に温州ミカン1箱を配布 甘酒、お餅風ムース、どらやき、和菓子、お汁粉
七草粥	1月7日	朝食：七草粥、味噌汁、あんかけ豆腐、なめ茸和え
節分	2月3日	A・B・C棟 昼食：恵方巻き・清汁・根菜煮・ムース
ひな祭り	3月3日	A・B・C棟 昼食：ちらし寿司、清汁、ジャガイモのそぼろ煮、 三色寒天 おやつ：甘酒
お彼岸	3月21日	おはぎ（代替食：お汁粉）
誕生日会	AB棟：月毎に設定 C棟：毎月第4木 曜日	ケーキ、お茶

## VII. 健康管理

### 特別養護老人ホームサニーヒル 入院者個別状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	N Y	2019. 4. 17	2019. 5. 11	25	肺炎・胸水・無気肺
2	K S	2019. 5. 21	2019. 6. 8	18	肺炎・膀胱炎
3	K N	2019. 7. 21	2019. 8. 17	22	肺炎・胸水・尿路感染
4	K T	2019. 11. 25	2019. 12. 28	33	肺炎
5	S S	2019. 12. 327	2019. 12. 28	2	腎不全・肝機能低下
6	A N	2020. 2. 17	2020. 2. 29	12	尿管結石
2019年度延べ入院者数 19人 述べ入院日数 497日間					

### 特別養護老人ホームサニーヒル 入所者の疾患状況

令和2年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	3	20	23
	心疾患	0	6	6
呼吸器系	気管支喘息 他	0	6	6
中枢神経系	脳梗塞	1	7	8
	パーキンソン病	1	0	1
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	5	5
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	1	2
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	0	3	3
内分泌系	糖尿病	2	3	5
泌尿器系	前立腺肥大症	0	0	0
	腎不全	0	0	0
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	0	1	1
合 計		8	52	60

※合併症を含む

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入院者個別状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	K E	2019.4.5	2019.5.6	22	肝機能高値・胆管炎
2	T U	2019.4.29	2019.6.1	34	肺炎・胸水・慢性心不全
3	T H	2019.5.23	2019.6.25	34	尿路感染
4	Y I	2019.11.8	2019.11.21	14	急性化膿性胆管炎
5	H K	2019.10.30	2019.11.30	32	肺炎・胸水・膀胱炎
6	K F	2020.1.10	2020.1.18	8	肺炎・腸閉塞
2019年度延べ入院者数 16人 述べ入院日数 392日間					

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入所者の疾患状況

令和2年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	1	13	14
	心疾患	1	5	6
呼吸器系	気管支喘息 他	1	2	3
中枢神経系	脳梗塞	1	5	6
	パーキンソン病	1	0	1
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	5	5
消化器系	急性・慢性胃腸炎	2	1	3
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	1	3	4
内分泌系	糖尿病	1	5	6
泌尿器系	前立腺肥大症	3	0	3
	腎不全	1	0	1
眼科系	失明	1	0	1
	白内障	0	1	1
合 計		13	41	54

※合併症を含む

## VIII. 施設実習及び地域交流

### 介護実習等施設受入れ実績

年間を通じた実習生の延べ人数は下表に示す通り、専門学校・短期大学・ヘルパー養成機関共に0人、体験学習14名である。

昨年度は学生及びヘルパー養成施設共に受け入れがなかった。その要因としては、昨今、社会問題となっている介護現場への就業を望んでいる人が減少している為であると推察される。

福祉短大・専門学校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
植草学園短期大学	0名（0名）	0名（0名）
京葉介護専門学校	0名（0名）	0名（0名）
東京福祉専門学校	0名（0名）	0名（0名）
計	0名（0名）	0名（0名）

ヘルパー養成施設	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
ニチイ学館	0名（0名）	0日（6日）
三幸福祉カレッジ	0名（6名）	0日（6日）
計	0名（6名）	0日（6日）

介護体験	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
日本経営協会（県新採職員研修）	14名（19名）	7日（6日）
計	14名（19名）	7日（6日）

地域ボランティア受入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
延べ人数	10人	10人	8人	13人	6人	36人	83人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	8人	14人	2人	2人	2人	2人	30人

年間受入れ延べ人数	113人
-----------	------

※前年度実績 177人

クラブ名	1回あたりの参加人数			指導者名	開催状況
	男性	女性	合計		
生け花クラブ	0人	5人	5人	鈴木 江美子	月1回
書道クラブ	5人	10人	15人	鈴木 喜子・岩井 綾子	月2回

## IX. 行事運営等活動及び保守整備状況

### 年間行事運営活動実績一覧

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
4 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 入所者定期検診 (春季) (年1回実施) ※血圧測定、 健康相談随時 職員(直接処遇) 定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	お花見 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 君津木更津認知症対策連絡協議会 身体拘束廃止委員会
5 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員(直接処遇) 定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 キューピクル定期点検	端午の節句 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 創立記念日	給食会議 生活支援会議 ケース会議 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会 介護保険事業所会議
6 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 冷暖房切替 消防設備点検 地下貯蔵タンク清掃	あやめ見物 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 久保田保育所来訪	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会 君津木更津認知症対策連絡協議会
7 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	七夕会 夏祭り 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	全体会議 生活支援会議 ケース会議 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 身体拘束廃止委員会 指導監査

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
8 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会 介護保険事業所会議
9 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 職員定期検診 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	敬老会 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会
10 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 君津木更津認知症対策連絡協議会 身体拘束廃止委員会
11 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会 介護保険事業所会議

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
12 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	忘年会 クリスマス会 生け花クラブ 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会
1 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 消防設備点検	初詣 新年会 鏡開き 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営委員会 感染症対策研修 介護認定調査委員現任研修 介護認定審査会委員研修 身体拘束廃止委員会
2 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	節分 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議、給食委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会
3 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	雛祭り 誕生会 お茶会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 ケース会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 君津郡市老人福祉施設連絡協議会 感染症対策委員会



設備機器導入ならびに保守整備状況一覧

年 月	件 名	内 容
3 1 . , 4	・B棟特殊浴槽交換	・ご利用者の健全な生活の為
1 . 5	・送迎車両の購入	・送迎車両の経年劣化の為
1 . 9	・太陽光発電システム	・電気料金削減の為
1 . 1 0	・リハビリマシーン購入	・デイサービスの稼働率向上の為
1 . 1 1	・各部署の固定電話交換	・固定電話の経年劣化の為
2 . 2	・ご利用者のベッド交換	・ご利用者の健全な生活の為
2 . 3	・ボイラー設置	・ボイラー経年劣化の為